

マツシマ パレス松島

マツシマ パレス松島

●チェックイン 15:00 アウト 11:00
●中央観光地・町内3駅で送迎
〒981-0215 宮城県松島町高城字浜38
TEL/022-354-2106 FAX/022-354-4020
E-mail/info@palace-matsushima.jp
<http://www.palace-matsushima.jp/>



松島の想い出

もつとも松島らしい
趣を観いていただける季
節。冷たく張りつめた空
と海の向こうから眩い
朝日がゆっくりと昇る
さまはまさに荘厳です。
東に見える四大観大高
森の稜線をなぞるよう
に昇る深紅の太陽に向
き合えば、時間は止まつ
たかのよう・・・。

冬の幻想

俳聖松尾芭蕉がこの
地を訪れた季節。古えよ
り、夏の松島には人々の
こころをいざなう不思
議な魅力があります。濃
淡鮮やかな青い空に浮
かぶ夏の綿雲。新芽の緑
に染まる老い松をたた
える島々。まっすぐな夏
の陽に明るく色づけら
れた遠浅な松島湾・・・。

秋の總景

夕刻にお部屋の窓を開
ければ、島々の間を縫つ
て吹く汐風が、湯上りの
体を優しく癒してくれ
ます。そんな旅情のひととき、
湾に浮かぶ小島が放つ
た祭花火に出逢えれば、
格別な夏の歓びを感じ
ていただることでしょう。

湾にたち込める秋霧
と頬をなぞる風が、その
移ろいを感じさせる頃、
蝉の声はひそまり鈴虫
のそれのかわっていま
す。盛夏を山で過ごした
秋茜は、松島のもみじに
その間合いを伝えるが
ごとく、この地へ降りて
きます。陽が傾けば空も海も

琥珀に輝き、長い宵月夜
には、柔らかな月光が松
島湾に染み入るようにな
ります。秋の松島ではそんな
素朴な穏景をご覧いた
だけます。等しいはずの
時の流れも、ここ松島で
はいつもと違う時間を
実感いただることと存じます。

奥羽山脈の雪水は優
しいせせらぎとなり、
豊かな耕土を潤し、草
花や虫たちを振り起こ
しながら松島湾に流れ
入ります。忘れかけて
いた春色の花木に人々
が笑顔をほころばせ、
街道路から見下ろす松島
湾の浅瀬では、あさり
採りの家族で賑わいま

す。
遠くに浮かぶ遊覧船
の上をかもめたちが舞
い飛び、楽しげなたわ
むれの行方に伸びる眩
い航跡は、生きたよう
に幾千もの輝きを放ち
ます。絵心を誘うよう
な春の薫りは、心の隅々
にまでほんのりと漂つ
てきます。

春の息吹

夏の歓喜

奥羽山脈の雪水は優
しいせせらぎとなり、
豊かな耕土を潤し、草
花や虫たちを振り起こ
しながら松島湾に流れ
入ります。忘れかけて
いた春色の花木に人々
が笑顔をほころばせ、
街道路から見下ろす松島
湾の浅瀬では、あさり
採りの家族で賑わいま

す。
遠くに浮かぶ遊覧船
の上をかもめたちが舞
い飛び、楽しげなたわ
むれの行方に伸びる眩
い航跡は、生きたよう
に幾千もの輝きを放ち
ます。絵心を誘うよう
な春の薫りは、心の隅々
にまでほんのりと漂つ
てきます。

奥羽山脈の雪水は優
しいせせらぎとなり、
豊かな耕土を潤し、草
花や虫たちを振り起こ
しながら松島湾に流れ
入ります。忘れかけて
いた春色の花木に人々
が笑顔をほころばせ、
街道路から見下ろす松島
湾の浅瀬では、あさり
採りの家族で賑わいま

春の息吹

す。

遠くに浮かぶ遊覧船

の上をかもめたちが舞

い飛び、楽しげなたわ

むれの行方に伸びる眩

い航跡は、生きたよう

に幾千もの輝きを放ち

ます。絵心を誘うよう

な春の薫りは、心の隅々

にまでほんのりと漂つ

てきます。

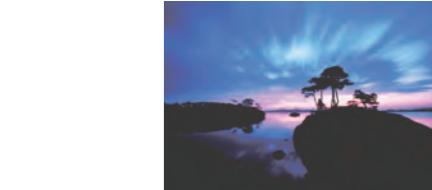
千二百年以上にわたって、日本人の憧憬と愛着を

注がれつづけた松島。

四季のある国に暮らしあわせ、

みごとに映し出します。

私たちには、そのお手伝いをいたします。



◆「不易」を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず…」

◆「佛聖松尾芭蕉が『奥の細道』で得た俳諧の思想、「不易流行」。書によると、【不易】永久不

◆「不易を知らざれば憧れた幼少に『土産土法』という詞を覚え、高校時分に飛び込んだ板場で逢った師匠に、『味道佛心』の心意をいただきました。そして、ここ宮城は「食材王國」。この地を築いた仙台藩祖伊達政宗公は「少しも料理心なき

◆「防音対策は完全ではありません。廊下、隣室での大声、お子様の夜泣きなどが聞こえる場合がございます。皆様が快適にお過ごしいただけるよう、ご理解ご協力をお願いいたします。

◆全24部屋のうち、ベッドを備えたお部屋は8部屋。お体の不自由な方は予めお申し付けください。なお、全室海

◆「不宜の本質を忘れない中にも、新しく変化を重ねているもののも取り入れていくこと。

◆「流行」新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。

◆「流行」新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。

◆「不易」を知らざれば、皆様から教えていただきております。

◆「私たちは求められるものは日々々々々。そんなとき「相手を喜ばせたい」気持ちで皆様と向き合うことで、新たな流行が見えてまいります。

◆「そして流行は、皆様から教えていただいております。私たちは求められるものは日々々々々。そんなとき「相手を喜ばせたい」気持ちで皆様と向き合うことで、新たな流行が見えてまいります。

◆「いきいきとして鮮やかな食材は、その地に流れる水と、その地に伝わる手法で支度することで真に美味しい料理になるのです。

◆「ひとかどの板前に憧れた幼少に『土産土法』という詞を覚え、高校時分に飛び込んだ板場で逢った師匠に、『味道佛心』の心意をいただきました。そして、ここ宮城は「食材王國」。この地を築いた仙台藩祖伊達政宗公は「少しも料理心なき

◆「いきいきとして鮮やかな食材は、その地に流れる水と、その地に伝わる手法で支度することで真に美味しい料理になるのです。

◆「至らぬ点はご承知おきいただき、「すべて」はございません。ご理解を賜れば幸甚でござります。

◆「パレス松洲に、『すべて』はございません。ご理解を賜れば幸甚でござります。

◆「パレス松洲に、『すべて』はございません。ご理解を賜れば幸甚でござります。

◆「ご承知おきいただき、「すべて」はございません。ご理解を賜れば幸甚でござります。

◆「パレス松洲に、『すべて』はございません。ご理解を賜れば幸甚でござります。

◆「向けて古えより、多くの文人たちに愛され、慈しまれてきたその景観を、特等席でご覧いただけます。

◆「中央観光地から徒歩15分、その賑やかさから少し離れた所にあります。町内3駅を含め、お1人でもお迎えにありがとうございます。お気兼ねなくお申しつけください。

◆「大浴場は天然温泉。美人の湯として知られるアルカリ性単純泉です。女性用に上質なバスアメニティを揃えています。入・出浴には、いす式昇降機があります。

◆「すべての支度は、「味道佛心」の志しと「土産土法」の作法にて

◆「お客様へ

◆「お部屋

◆「お部屋は、8部屋。お体の不自由な方は予めお申し付けください。なお、全室海

◆「お食事」

◆「お食事」

◆「お食事」

◆「お食事」



プレミアツイン



スタンダード和室

◆その他

◆全室海向き24部屋

◆和室18ツイン6

◆天然温泉(松島温泉1号泉)

◆お食事処/個室ご宴会会場

◆リビング「海のどか」

◆アフターコーヒー(無料)

◆静かなセルフバーあります

(浴衣のままご利用できます)

◆りらくコーナー

◆マッサージチェア(無料)

◆おみやげ処「かもめ屋」

◆宮城の旨いもの、いいもの

◆「その日、その節に入手できる食材にて、その時折に最適な支度を心がけています。そのため、事前にお献立をお伝えできませんが、「食べて美味しい食事」はお約束いたします。夕食は和食ベースのお膳料理。「ご朝食」はセルフバイキングでお品数は約30種です。なお、食品アレルギーのお客様は事前にお知らせください。

◆「5名様以上でのお食事は個室です。畳部屋ですが正座の苦手な方や、女性にもお気兼ねなくお食事を楽しんでいただけるよう、「お座敷」の他、「テーブル式」も可能です。また、お食事後には、リビング「海のどか」にコーヒーをご用意いたします。

◆「お好きなカップと、お気に入りのソファで、のどかな海をお愉しみください。

◆「5名様以上でのお食事は個室です。畳部屋ですが正座の苦手な方や、女性にもお

◆「お食事は、セルフバイキングでお品数は約30種です。なお、食品アレルギーのお客様は事前にお知らせください。

◆「ご朝食」はセルフバイキン

◆「リビング「海のどか」

◆「お座敷」



◆「大鹿敦志 料理長



◆支配人敬白

◆「蕉風俳諧の理念として説かれてゐるところですが、万事に当てはまるものとも思えます。

◆「パレス松洲に、自慢できるものは多くありません。はまるものとも思えます。

◆「蕉風俳諧の理念として説かれてゐるところですが、万事に当てはまるものとも思えます。

◆「易の本質を見据え、パレス松洲の流行を磨いていきます。小さな宿ではございますが、皆様の常宿にしていただけるよう、日々努めてまいります。

◆「蕉風俳諧の理念として説かれてゐるところですが、万事に当てはまるものとも思えます。

◆「易の本質を見据え、パレス松洲の流行を磨いていきます。小さな宿ではございますが、皆様の常宿にしていただけるよう、日々努めてまいります。

◆「易の本質を見据え、パレス松洲の流行を磨いていきます。

◆「蕉風俳諧の理念として説かれてゐるところですが、万事に当てはまるものとも思えます。

◆「易の本質を見据え、パレス松洲の流行を磨いていきます。小さな宿ではございますが、皆様の常宿にしていただけるよう、日々努めてまいります。